

令和8年度「やまぐち生涯現役社会づくり章」一覧

(い き い き シ ニ ア 実 践 事 例)

【個人の部：3名】

市町名 氏 名	活 動 内 容	年 齢
出席 岩国市 おおさき きよし 大崎 潔	各種団体での地域貢献活動 岩国市美川地区社協、岩国市老連美川支部が連携を図りながら事業展開し、地域支え合い活動として、「岩国市美川町地域支え合い協議会」を発足することに尽力した。ご近所ささえ合い会議は、住民参加型で地域の高齢者が住み慣れた町で暮らしていくための話し合いを行う会議体として、「現在、どんなことで高齢者が困っているのか」、毎年調査を実施。健康づくりと仲間づくりを目的とした「さんぽの会」では、担い手が不足している地域で、ご近所ささえ合い会議は、そこに住む住民が主体となって取組めるきっかけづくりの場としている。さんぽの会は、「会」の形式にとらわれず、ゆっくり、のんびりした会として新しい取組で展開中。 岩国市老連美川支部が中心となって、週2～3回、グラウンド・ゴルフの練習の中で積極的な声掛けを行うなど、精力的に参加者増に努めている。	83 歳
出席 山口市 こうさか よしひこ 幸坂 美彦	防災を通じた地域支え合い、つながりづくり 人の命を守ることは、日本古来の文化「つながり」にあると考え、地域でつながりづくりをしている。「人をつくり 心をそだて 地域をつくる」をモットーに、高齢者から子どもまで、障害を持った方や支援のいる方から元気な方まで広い範囲で命を自分でどう守るか、つながりでどう守るか、防災から地域での支え合い、つながりづくりに係る活動をしている。 楽しい、嬉しい気持ちで人とのつながりや出会いを求めて「つながりづくり」、「人づくり」を提唱しながら、明るく元気な「生涯現役社会づくり推進サポーター(ちょるサポ)」として、防災を通して福祉の充実や住みよい地域づくりに努めている。	75 歳
欠席 柳井市 さだひろ まもる 貞広 守	老人クラブの広報活動 柳北福寿会が実施する諸活動に積極的に参画し、楽しく元気に活動している。 それまで活動PRらしきものがなかったが、平成27年に事務局として諸事業の活動状況を「福寿会だより」で発行(年4回)し、地域に会の活動を知らせ、地域事業に貢献した。 その後、市老連広報に就任し「市老連だより」を年3回発行し、各単位クラブに配布しており、令和4年からは市老連として「やない白壁シニアふれあい広場」の冊子を発行し、会員全員に配布している。	81 歳

(注) 年齢は令和8年10月22日時点

【グループの部：4グループ】

市町名 グループ名	活 動 内 容	人数	平均 年齢
出席 萩市 旭大学	高齢者生涯学習グループの活動 高齢者生涯学習グループで、高齢者大学といった位置づけで、長年にわたり培ってきた豊富な知識や技能を生かし、健康で生きがいをもって積極的に社会参加し、学習意欲を向上することを目指している。 自分たちで企画したプログラムを毎月一回、萩市佐々並の旭活性化センターで集まり実施している。 校外学習も実施しており、年間カリキュラムの一例としては、健康づくり講座（健康に関する講師を招いての講座）、教養講座（神社のお話、法と福祉のセミナー参加、終活講座）、修学旅行（バスでの県内のお出かけ）などを実施している。 修学旅行も観光だけでなく講義を聴いたり、実体験を取り入れたりしている。 運転免許返納後の公共交通機関を利用した100円バス券での利用練習の実体験を毎年実施し、その成果は周りの友人等にも情報が共有されており、旭大学での活動が周りの方々へも影響を及ぼしている。	27人	81歳
出席 柳井市 ボランティアグループさざ波会	地域住民と協力したボランティア活動 お年寄りや子供たちを地域ぐるみで見守ろうと、昭和56年11月に民生委員を中心に「ボランティアの会」を結成する動きがあり、婦人会の方々の賛同もあり、翌年7月に「さざ波会」として発足。 発足当初は、老人給食配布と養護老人ホームの訪問から始まり、その後、地区で開催の諸行事や、公民館活動や児童見守り活動などに取組んでいる伊保庄地区のボランティアグループである。 今年で43年目になり、現在では、総務・給食・事業・児童の4つの部構成で、住みよい伊保庄地区を目指し地域住民と協力しながら地域と密着した活動を通し、住民の福祉の向上を図ること目的として活動を展開している。 Ⅰ総務部 年度総会（4月）、会の総務業務の総括、地域福祉施設の行事協賛、三世代交流運動会協力、ボランティア行事、地域行事への積極的な参加、もったいない運動への協力。 Ⅱ給食部 月2回の老人給食調理・配達・配達に合わせ民生委員と見守り活動の実施。 Ⅲ事業部 柳井市・伊保庄地区の各行事において『うどん・炊き込みご飯』のバザー及び遊休品の出店販売。 Ⅳ児童部 学童登下校時の見守り・交通指導、学校行事への参加（津波対応避難訓練・持久走大会・運動会・学校草刈美化作業などへの協力）	39人	74歳

出席 柳井市 柳井市老人クラブ 連合会 中村南長寿会	<u>老人クラブ活動による健康維持、地域貢献</u> ○中村南長寿会 ・令和6年度に立ち上げたグラウンドゴルフ部で練習（週2回、約15名） ・ペタンク部の設置計画中 ○市老連事業への積極的参加と協力 ・年2回の親睦旅行への参加（春は日帰り、秋は1泊） ・年2回実施されるグラウンドゴルフ大会（春・秋）、ペタンク大会（春・秋）への参加 ・毎年行われるふれあい大会（春）、スポーツ大会（秋）への参加 ○地元行事への積極参加、支援 ・清掃作業（賀茂神社、中学校跡地、黒島海水浴場）、盆踊りなど祭りへの積極参加 ・いきいきサロンと共同して独居高齢者への生きがいくくり	32 人	78 歳
出席 宇部市 川上シニアクラブ 連合会 ひらき台 きれい会 ひらき台自治会シ ニア部わいわいサ ロン	<u>サロン活動による地域の支え合い</u> ①グラウンドゴルフ：週3回、自治会公園内、これが基礎 ②健康サロン：介護施設から指導により体操・講話・ゲーム（月1回） ③清掃・花壇の整備：季節ごとの分と毎月1回 ④カラオケ：月1回、自治会集会所、会員以外の人も参加 ⑤趣味の小物・手工芸品：隔月1回 ⑥地域内交通安全週間：見守り立哨（年2週間） ⑦自治会の行事：文化作品展・町内清掃・運動会・ボッチャ大会（年6回位）	40 人	78 歳

（注）平均年齢は令和8年4月1日時点

令和8年度内閣府「エイジレス章」「社会参加章」（山口県推薦関係）

【エイジレス章（エイジレス・ライフ事例部門）：1名】

市町名 氏 名	活 動 内 容	年 齢
出席 美祢市 たかはし いくお 高橋 郁男	カキツバタの保全による地域貢献活動 地域住民と「カキツバタを守る会」を結成し、環境問題等により壊滅的だった地元の湿地帯に自生するカキツバタ（県及び市が指定している天然記念物）を、「カキツバタは自分たちの財産。だから自分たちで守り、かつての姿を蘇らせたい。」という強い信念のもと、各種保全活動（草刈り、清掃、苗補など）により再生させた。 カキツバタ群落は、毎年5月中旬頃には県内外から多くの方々が訪れる観光スポットとなった。 また、開始から四半世紀を経た現在も保全活動を継続して行っているだけでなく、更にこの活動を通じてふるさとの文化・自然を守る取組や、地域の小学生を対象とした環境・自然保護の大切さを教える自然学習会を開催するなど、地域のコミュニティの醸成、環境保全活動及び地域貢献活動の模範になっている。	85 歳

（注）年齢は令和8年10月22日時点

【社会参加章（社会参加活動事例部門）：2グループ】

市町名 氏 名	活 動 内 容	人数	平均 年齢
出席 宇部市 上宇部地区老人 クラブ連合会 （上宇部まだ まだクラブ）	児童・生徒との交流による地域活動 他の関係団体と連携しながら、「地域の子どもは地域で育てる」の信念をもってコミュニティ・スクールの活動の強化を推し進めている。 地域の小学校だけでなく、中学校や高等学校に対してもその児童や生徒にふさわしいオーダーメイドな活動を行っている。 ○小学校 ・走り方教室：日本一足の速い子の学校づくり ・昔あそび：子どもに私たちが小学校の頃の遊びを教える。 ・子ども食堂：子どもたちの居場所づくりと子どもたちのコミュニティづくり ○中学校 ・カローリング教室：チームワークが大事な競技 ・門松作り：もの作りの基本、日本の伝統を作りながら継承 ○高等学校 ・溝さらえ：高校生はボランティアの大切さを学び、地域の人との交流	136 人	76 歳
出席 光市 光市老人クラブ 連合会 若手部	高齢者・要配慮者の避難を想定した防災活動 地域の自治会をはじめ、関係機関・団体と連携しながら、災害時において地域にいる高齢者や要配慮者への救助や搬送がスムーズに行えるよう、協議・検討を行い、誰ひとり取り残されないインクルーシブ防災の共助による分散避難の推進が定着するように活動を行っている。 最も近くて高台の緊急避難所を選定し、光駅を挟んだ2連合自治会同士で協働の呼び掛け避難受援訓練を計画し実践した。 ハザードマップの照査、防災まち歩きで危険場所の発掘、逃げ地図づくり図上演習を行い短時間・短距離・高台の施設を小学校校区の児童、PTA、老人クラブ、防災会が一堂に会し討論・検討した。 防災まち歩きでは約80年間放置された地域の自然災害伝承碑に碑由来の紹介プレートを作製設置したことで地域の防災意識を高めることに繋がった。	1,998 人	82 歳

（注）平均年齢は令和8年4月1日時点